

議会

111

6月定例会号

だより

平成29年8月

発行 佐呂間町議会



大先輩方を前に、いつもよりも緊張しています！ 寿大学議会懇談会 平成29年6月2日撮影

- ☆6月第2回定例会 ◇審議した議案 2～3P ◇町長行政報告 4P
◇一般質問「第4期佐呂間町総合計画の進捗について」など 5～9P
- ☆議会懇談会を開催 10～12P ☆寿大学議会懇談会を開催 13P
- ☆4月第1回臨時会 ◇審議した議案・町長行政報告 14～15P
- ☆議会ニュース ◇委員会レポート 16～17P
- ☆みんなの笑顔でまちを元気に！ / 議員のひと言 18P



さ ろ ま

あなたと町議会を結ぶ情報誌

佐呂間町URL <http://www.town.saroma.hokkaido.jp/>

第2回定例会

第2回定例会

・審議した議案②

・審議した議案①

農業委員の任命に同意しました。

報告2件、承認1件の審議を行い、いずれも了承、承認しました。また、1件の意見書を可決し、関係省庁に提出しました。

第2回定例会が6月20日から21日の間で開催され、一般会計補正予算など11件の議案審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。



ルートイングランティアサロマ湖の営業再開に向けて
浄化槽改修費を補助
2200万円

特別養護老人ホームの煙突改修 1581万円

審議した議案

予算

- 平成29年度一般会計補正予算(第1号)
6651万円が追加され予算額が52億8921万円になりました。
- 【主な歳入】
・普通交付税 6500万円
・地域づくりの総合交付金 100万円
【主な歳出】
・耐震診断業務委託料 560万円
・若佐コミセン煙突改修工事 817万円
・ルートイングランティアサロマ湖浄化槽改修費補助金 2200万円

- ・介護サービス事業特別会計 繰出金 1581万円
- 平成29年度簡易水道特別会計補正予算(第1号)
132万円が追加され予算額が2億8134万円になりました。
- 【主な歳入】
・一般会計繰入金 132万円
【主な歳出】
・北区加庄ポンプ室電気改修工事 130万円

- 平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出予算の総額に増減はありませんでした。
- 【主な歳入】
・平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出予算の総額に増減はありませんでした。
- 【主な歳出】
・平成29年度介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)
1581万円が追加され予算額が2億7858万円になりました。
- 【主な歳入】
・一般会計繰入金 1581万円
- 【主な歳出】
・特別養護老人ホーム煙突改修工事 1581万円

条例

■高齢者福祉住宅設置及び管理に関する条例の制定
現在建設工事を進めている高齢者福祉住宅に関する条例を制定するものです。

■国民健康保険税条例の一部改正
平成29年度税制改正により、条例を改正するものです。

改正の内容は、軽減措置の所得判定基準の引き上げとなっております。

同意

- 農業委員の任命同意
農業委員として、次の方の任命について同意しました。
- ◎共 立 田宮 哲 氏
- ◎大 成 近藤勝幸 氏
- ◎啓 生 今部好幸 氏
- ◎栃 木 牧野 勇 氏
- ◎川 西 田村通啓 氏
- ◎武 士 山内信之 氏
- ◎富 丘 川村良則 氏
- ◎西 富 佐野敏治 氏
- ◎北 来 堀北勝美 氏
- ◎知 倉 橋本弘幸 氏
- ◎仁 倉 橋本弘幸 氏
- ◎浜 呂 和泉茂樹 氏
- ◎幌 岩 齊藤浩明 氏
- ◎富 武 大澤好幸 氏
- ◎若 里 橋本 聡 氏

■損害賠償の額の決定
除雪車による町の損害賠償の額が、次のとおり決定になりました。

・損害賠償の額 14万400円

・損害賠償の相手方 北見市北斗町2丁目3番24

日本放送協会北見放送局 局長 大出岳史 氏

■損害賠償の額の決定
除雪車による町の損害賠償の額が、次のとおり決定になりました。

・損害賠償の額 ①21万7934円

②19万9947円

・損害賠償の相手方 ①紋別郡遠軽町大通北4丁目

北海道電力株式会社遠軽営業所所長 竹森英樹 氏

②札幌市中央区大通西14丁目7

その他

■戸籍に係る電子情報処理組織の事務の委託
戸籍システムの共同利用に伴い、受託町である蘭越町と委託町であるむかわ町、当町との3町で協議することについて規約を定めるものです。

■専決処分の承認
財産の無償譲渡の専決処分について承認しました。
ルートイングランティアサロマ湖の営業再開に向けて、町内浪速にある宿泊施設用浄

報告

■平成29年度第1回定期監査報告書
平成28年度会計の定期監査が5月10日から17日までの5日間実施され、その結果について監査委員から、適正に処理、運営されていたとの報告がありました。

■繰越明許費繰越計算書
平成28年度一般会計から社会保障・税番号制度通知カード交付事業ほか3件、4449万8千円が29年度に繰り越しになりました。

意見書

■林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
地域の特性に応じた森林の整備保全を着実に進め、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を実現するため森林環境税の創設等を求める意見書が可決され、関係大臣宛に提出されました。



昨年外壁改修を終えた西富団地(8号棟)

第2回定例会

第2回定例会

5名の議員が一般質問を行いました。
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

町長より行政報告がなされました。

町長行政報告

一般質問①

一般質問

町長行政報告

(要旨)

■農作物の生育状況

雪解けも早く、ヒートやデントコーンなどの農作業は順調に進み、強風と低温の日が続きましたが、総じて農作物の生育も良いことから、今後不安定した天候を願うところであります。

牧草の草丈も平年並みに生育し、サイレーシ収穫作業が開始され、順調なスタートが切れたものと確信しています。

■町営牧場の入牧状況

6月9日現在、乳牛370頭、和牛150頭の520頭が放牧されています。
酪農経営の基本である健康で丈夫な牛の育成を図るため、大いに利用していただきたいと思っています。



ほたての積み込み作業で活気づく富武士漁港

■漁業について
外海ほたて稚貝放流は9日間で終了し、7963万粒を予定どおりD海区へ放流し、時化の被害のあったC海区へ追加放流を行ったとの報告を受けています。

ほたて稚貝採苗については、海水温が平年よりやや高く推移し、ラーバの出現が早く見られたことから、採苗器の投入が進み順調に推移しています。
マス稚魚については、町内3河川から合計100万尾を放流しています。
また、サケ稚魚の中間育成については、190万尾を飼

育したのち放流し、10万尾については、佐呂間別川より放流を行いました。
外海ほたて漁業の本年の漁獲目標は5100トンに設定されており、1隻6トン体制で操業が開始されています。

■公共事業の執行状況

主な工事と委託の事業件数については、災害復旧工事を含め46件で、総額で6億8700万円を予定しています。

発注状況については、19件で3億1千万円であり、発注率は、件数では41%、金額では45%となっています。

現在、各町道や公共施設などで改修工事を実施しており、何かとご不便をおかけいたしますが、ご協力の程をよろしく願います。

■後期高齢者医療保険料及び国民健康保険税の算定誤り

後期高齢者医療広域連合の電算処理システムの設定に誤りがあり、世帯主又は本人が青色申告を行っている被保険者の一部の方について、保険

料の軽減判定所得の計算が誤って行われ、納付すべき金額と異なる保険料が賦課されるシステム設計となっております。
誤って賦課した可能性のある被保険者の抽出及び再計算の結果、本町においては2名の方の賦課誤りが判明しました。
同様の仕組みとなっている国民健康保険税の算定についても、同じ誤りが認められ、10名の課税誤りが判明しました。

後期高齢者医療保険料については2名で7万5千円、国民健康保険税については10名で73万5千円を過大に徴収していたものであり、12名の方には担当課より直接お詫びに出向くとともに、過誤納付金に加算金を加え5月31日に還付しております。

システムによる誤りとは言え、過大に徴収した方々には深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に向け努力してまいりたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。



本見研介 議員

第4期総合計画の進捗について

【質問】
総合計画は、全ての計画の基本として最上位に位置づけられる計画であり、現在7年目で残り3年です。策定に当たり町長が当初から関わり、マニフェスト(公約)も反映されていると考えていますか。

【答弁】(町長)
総合計画の策定においては、平成20年9月の就任と同時に策定委員会を設け、2年間の委員の諮問、答弁を受けでき上がりました。町の羅針盤となるものです。

【質問】
計画では、今後何の対策もしなければ2020年度には人口が5200人程度、高齢

第4期総合計画

高齢化と「活」の質は

町長：若い世代の働き手不足が課題

雇用の創出を図りたい

化率については38・1%になるとしています。本年4月30日現在で人口は5200人、高齢化率も38・0%と、予測値に近づいています。この7年間の施策について伺います。

【答弁】(町長)

人口の減少と高齢化比率の上昇は否めません。地域に安定した仕事、産業と雇用を創出し、本町の基幹産業である農業、漁業や町内の商店街、建設業の振興について若い世代が安心して仕事につくことができるよう、雇用の創出を図っているところです。

町内で雇用はあるが働き手がいけないという課題については、今後も協議していかなければ

ればならないと考えています。

【質問】

自治会の区域再編の検討、自治会の加入と活動の活性化が必要とされていますが、進捗について伺います。また地域担当員制度の充実はどこまで進んでいますか。

【答弁】(町長)

自治会の区域再編の検討を行うのは各自治会、または自治会連合会となります。自治会連合会は年2回総会を開催し、各自治会との意見交換、情報共有を進め、問題解決に努めています。現時点において区域再編の検討は行っていません。

地域担当員制度についても、地域からの要請により会議や行事等に参加するように考えています。

【質問】

計画では自治会の協力等に

より生活困窮者の把握と支援に努めるとありますが、どこまで把握しているのか伺います。

【答弁】(町長)

現在安定した経済情勢にあるとはいえ、人口減少は進行しています。支援を必要とする生活困窮世帯の増加が予想されることから、地域関係機関と行政が連携を密にして取り組んでいく考えです。

【質問】

特別養護老人ホームについて、民間に経営移譲か業務の一部民営化を検討するところですが、町営で運営する方針に変わりはなく伺います。

【答弁】(町長)

給食業務などは一部民営化していますが、今後も民間での運営ではなく、町立での運営を基本に考えていきます。

【質問】

障がい者支援の進捗について伺います。

【答弁】(町長)

障がい者が自立した生活を営みながら自己実現できるように、平成30年度からの障がい者福祉計画の作成に向け準備を進めているところです。

第2回定例会

・一般質問②



小松正義 議員

浜地域の吸血性害虫

調査・駆除の取り組みは

町長：…土砂埋め立てを継続実施
地域と協議し道に要望する

浜地域を中心とした、吸血性害虫 (ブヨ、蚊)について

【質問】
今後の対策の参考にするアンケート調査を行う考えがあるか伺います。

【答弁】(町長)

浜佐呂間自治会と対策の協議を進めています。基本は土砂による埋め立て方式であり、湿地帯全体の50から60%は整地を含め埋め立てができ、今後道施行の河川改修が継続実施されるとの状況から、改めて埋め立て実施に向け要望を行う考えです。

【質問】
地域の方々は長年にわたり

苦痛な生活を強いられています。この状況について研究機関による生息地域、種類等の調査をする考えについて伺います。

【答弁】(町長)

数十年前、生息調査を研究機関でやった文献が今も残っています。しかし、駆除課題として、散布期間や経費、労力、海水への影響が最も懸念されることから、抜本的な対策は取られない状況です。なお昨今、蚊の繁殖を防ぐための研究が進んでいること、注視をして結果を待ちたいと考えています。

【答弁】(町民課長)

繁殖を防ぐ研究も進んでおり、新種の蚊がいるということもありますので、地

域の方と相談しながら今後進めていく考えです。

介護職員不足による 介護を受けられない 状況対策について

【質問】
現在の特別養護老人ホーム愛の園の入園者数、介護職員の状況について伺います。

【答弁】(愛の園園長)

特養の定員は60名、ショートステイの定員は5名です。現在の特養入所者は50名、ショートステイは多少の前後があり、5人の日もあります。介護職員は正職員が3名、嘱託職員が18名の計21名という状況です。

【質問】

今後、介護職員があと何名雇用されれば入園定員が確保されるのか伺います。

【答弁】(町長)

60名の体制を整理するにはあと3名、24名なり25名の職員が必要です。

雇用条件の改善を図り、正職員、嘱託職員も含めた夜間勤務手当の改正、労力軽減として清掃業務委託を進めているところですが、職員の確保には至っていません。

【質問】
介護職員の雇用対策を行政視点で進めるのではなく、町独自方式で、職員への特典を付与するなどの考えはあるのか、また、近郊での介護職員の雇用が不可能な場合に海外研修制度の利用を考えているのか伺います。

【答弁】(町長)

海外研修制度につきましては、町内の施設の状況から海外研修生の指導に当たる人材を確保することは困難と判断しています。町としては、介護職員養成学資貸付事業や介護職員養成事業を広く周知活用し、介護職員の養成と確保に全力を挙げたいと考えています。

第2回定例会

・一般質問③



高橋紀久 議員

観光への取組・展望について

【質問】
現在休業中の富士山の宿泊施設が通年での営業再開となり、多人数を受け入れ可能となることから、「通過型」の観光から、宿泊を伴う「滞在型」の観光が可能となり、町の観光戦略の大きな見直しが必要ではないかと考えます。通年または季節ごとの継続的事業や、町の観光スポットをより良くする方策など、今後の観光への取組・展望についての考えを伺います。

【答弁】(町長)

これまでサロマ湖など豊かな自然を生かした景観などを観光資源として進めてきました。新たな観光施設の設置には莫大な費用がかかりますので、既存施設の維持に努め、自然の観光に重点を置いていく考えです。

「滞在型」観光への取組など

町の観光戦略の「見直し」は

町長：…観光振興への取組は
ハード・ソフト両面で進める

広域的取組としてはサロマ湖を共有する1市2町で連携をし、また湧別町・遠軽町・当町でYESプロジェクトとして、地元の特産品を生かしたグルメをPRする準備を進めています。

すくには滞在型観光への転換は難しいですが、観光振興はハード・ソフト両面で進め、資源・施設をしっかりと守りながらより発展させていきたいと考えています。

【質問】

幌岩山のサロマ湖展望台・道路・登山道を整備する考えはあるのか伺います。

【答弁】

幌岩山のサロマ湖展望台・道路・登山道を整備する考えはあるのか伺います。

【答弁】(経済課長)

新規整備の計画はありませんが、道路は定期的に整備・部分補修をしています。大型バスは遠慮していただき、砂利道に慣れていないドライバーには十分な注意をお願いしています。

【質問】

キムアネップ周辺などサロマ湖で遊べる場所を整備する考えはあるのか伺います。

【答弁】(町長)

海水浴・キャンプ人口が減少し、レジャーのスタイルが変わってきたことから、現状を維持し、宣伝を続け利用を拡大していく考えです。再開する宿泊施設には、食事、物販は物産館みのり、町の外食産業との連携をお願いし、交通の利用も活発にしていきたいと考えています。

【質問】

町の施設の案内表示板が足りないという意見があるが、意見の取り入れをする考えはあるのか伺います。

【答弁】(町長)

基本的な施設については皆さんの意見を聞きながら対応していきたいと思えます。

第2回定例会

・一般質問⑤

【質問】 平成30年度から国保制度が変わり、財政運営が道へと移ります。急激な税負担の増加を防ぐため、激変緩和措置をとることになっていますが、国保税率は上がらざるを得ない状況であり、特に中間層の税負担が増すことから、医療費負担の軽減措置として子育て医療費助成事業の高校生対象等も含めて、前向きに検討させていただきたいと考えています。

【答弁】(町長)

町はこれまで子育て応援という観点で、早い段階での中学卒業までの入院・通院の医療費無料化を実施してきました。保育料の一部助成、出産祝い金などにも取り組み、佐呂間は子育てしやすい町という声があるとも聞いています。子育て応援施策である子ども医療費無料化の高校卒業までの拡大を願うものでありますが、考えをお伺いします。

【質問】 図書館に併設された児童館は築30年を超え、今は児童クラブの子供たちも利用し、建設当時とは大きくさま変わりしていると思います。駐車

【質問】

児童館・児童クラブを利用する子供たちのための図書館前駐車場の安全対策を含む施設の見直しについて

【質問】(町長) 児童館利用の行動類型や動線など、児童厚生員を含め確認を行い、かつ図書館利用者の利便性を考慮しながら、新たな駐車場整備に向け、前向きに検討を進めていきたいと思

【答弁】(町長)

場の危険性については平成26年6月定例で三田議員が質問し、施設のあり方についてもこれまで伺ってきたところではありますが、これまでの答弁はいずれも検討するという段階で終わっており、いまだに改善されずいます。子供たちの安全と生活遊びを通しての発達の場を保障するということからも、施設の見直しが必要な時に来ているのではないのでしょうか。これまでどのように検討されたか、また今後どう改善しようとしているのかお伺いします。

【質問】(町長) 高齢者にとって大きな負担となっていることは十分承知しています。除雪対策は、町、自治会単位のボランティア、社会福祉協議会事業の3体系があり、相互理解を図りながら、高齢者等が冬期間を安全で安心して生活できる地域づくりを進めています。

【答弁】(町長)

除雪は高齢者にとっては大きな負担となるものです。除雪を望む人、除雪できる人を登録し、1回の料金を設定したり、あるいは年間の回数を決めることで対応している町もあるそうです。このような方法なら町でもできるのではないのでしょうか。必要な人に必要なサービスを提供する、福祉路線にとられない除雪対策についてお伺いします。

第2回定例会

・一般質問④



三田 真美 議員

町民健康菜園について

【質問】

現在町民健康菜園は空いていて使用されているところが少なく感じています。現在は何%使用されているのか、今後の有効活用するための方策はどうか考えているのか伺います。

【答弁】(町長)

平成14年から定住促進団地整備に関わり購入した団地の有効活用として始まった町民健康菜園ですが、多い年で14区画、少ない時は9区画で、現在は11区画の61%であり本年度が極端に少ないとは感じていません。

西富勤労者団地は23区画のうち現在5区画がまだ残っているため、しばらくは町民菜園として利用していただく

町長：… 用地の有効活用として、現在も11区画が菜園利用中

町民健康菜園の空き区画は、今後の有効活用等は

園として利用していただくことを考えています。

【質問】

現在の区画は意外と広く、若い世代の親子が食育のために少しの野菜を育てるためには、区画を小さくし借りやすいものにしたいと思

【質問】

また水道がなく不便なこともあり、マラソンの時の給水タンクなどの活用ができる利便性も向上すると思

【答弁】(経済課長)

借入状況を見ながら区画割りをしているため、大きさを

点検などの町としての役割を伺います。

【答弁】(町長) 本町には主な交差点9カ所にブロックが設置されていますが、今回のセブンイレブンから郵便局までは網走土木管理部遠軽出張所の管轄なので要望していききたいと考えています。

【質問】

セブンイレブンが混む時間帯は駐車場に車が混みあい、盲導犬が身動きが取れなくなるなど、マナーの周知が必要と思われ

【答弁】(町長)

また、現在改修している老人福祉センターなどにも、利用が多いことからブロックを設置していただきたいと思

【答弁】(副町長)

広報紙などでも視覚障がいの方への支援なども含め、啓発することにも助けあっていきたいと考えています。

老人福祉センターは足の不自由な方や高齢者が利用するので、今すぐできるかは別にして、冬期間も滑らず使用できるような安全なもの設置は考えていかなければと思



但木 早苗 議員

子ども医療費無料化を高校卒業まで拡大することについて

【質問】

町はこれまで子育て応援という観点で、早い段階での中学卒業までの入院・通院の医療費無料化を実施してきま

子ども医療費の無料化

高校卒業まで拡大しては

町長：… 高校生対象を前向きに検討

い状況であり、特に中間層の税負担が増すことから、医療費負担の軽減措置として子育て医療費助成事業の高校生対象等も含めて、前向きに検討させていただきたいと考

場の危険性については平成26年6月定例で三田議員が質問し、施設のあり方についてもこれまで伺ってきたところ

【答弁】(町長)

児童館・児童クラブを利用する子供たちのための図書館前駐車場の安全対策を含む施設の

除雪対策について

【質問】

除雪は高齢者にとっては大きな負担となるものです。除雪を望む人、除雪できる人を登録し、1回の料金を設定したり、あるいは年間の回数を決めることで対応している町もあるそうです。このような方法なら町でもできるのではないのでしょうか。必要な人に必要なサービスを提供する、福祉路線にとられない除雪対策についてお伺いします。

【答弁】(町長)

高齢者にとって大きな負担となっていることは十分承知しています。除雪対策は、町、自治会単位のボランティア、社会福祉協議会事業の3体系があり、相互理解を図りながら、高齢者等が冬期間を安全で安心して生活できる地域



ごみ焼却施設完成予想図 (遠軽地区広域組合提供)

答 今のところ返納した方を支援する手立てはないとのことですが、バスが町内無料、町外500円の運賃体制は、町に住み続けるための取り組みの一つと考えています。

ごみ処理場の入札に加えてもらいたい

問 町が工事負担をしているのを知ったが、小規模電気業者でもJV(共同企業体)には加えてもらえないのか。

答 広域組合の周知不足もあると思いますが、この工事については公募をかけています。

ごみ処理場の町の負担金はどれくらい

問 ごみ処理場の負担金は、3町全体で相当な金額となるのか。

答 29年度の工事費、事務費等の負担金は3町で17億円、うち当町分は3億7360万円となっています。

子どもの遊ぶ場所が町にほしい

要望 子どもの遊ぶ場所が少ないと感じている。大規模な施設でなくても、簡単な遊具がある施設が町にほしい。

町民と医師が交流する機会を

問 この度常勤医として来られた先生は地域医療に理解のある先生と受け止めている。病院の診療だけでなく、町民と交流する機会を作っていただきたい。

答 特別委員会で懇親会を6月中に予定しています。



平成29年度議会懇談会を開催!

語ろう まちと私たちの未来

平成29年度の議会懇談会が4月19日に漁村環境改善センターと佐呂間コミュニティセンターで開催されました。参加された皆様から議会及び行政全般に対して、貴重な意見・要望・提言をいただきましたので、その質問と回答をお知らせいたします。

医師の声を町広報で載せてほしい

問 町広報、議会広報で医師や病院スタッフの声を載せると、身近に感じられると思う。

答 伝えていきたいと思えます。

特別養護老人ホーム愛の園の利用状況は

問 特養の利用状況を知りたい。また待機者は何名か。

答 定員60人収容の施設で、現在51名が入所し、うち6名がショートステイですが、介護士が数名辞めたため、法律上受け入れができない状況です。町民にとって重大な事態ですが、今年嘱託職員の雇用基準が改正されましたので、これにより介護士が増えてくれればと思います。待機者は40名と聞いています。

海外から研修生を受け入れるなど、発想の転換が必要

答 国の制度を変えてもらわ

町立診療所の特別委員会の来期設置は

問 今期で議員の皆さんの任期が切れるが、来期の特別委員会設置にあたり、新議員に申し渡して考えているのか、または今期で自然消滅の形になるのか。

答 議員の任期は9月29日です。特別委員会は一度解散する形になります。申し送りは今段階では行っていませんが、議会としては次期議員で設置を検討し、継続していく考えをもっています。

職員による公用車の無断使用への対応は

問 議会としての対応をどのようにとったか聞きたい。

答 臨時議会議中、理事者に対し、体制と今後の事故防止について発言しましたが、今後購入する車両については町名



施設の案内表示板を

問 他町村に行くとき案内表示板があるが、町の市街地にはなく、来町者が探す状況です。早い機会に設置をしていただきたい。

答 所管の総務福祉常任委員会から町へ伝えていきます。

放射線廃棄物最終処分場の説明会出席

問 処分場の説明会に職員を派遣しているが、そのことについて議会では質問しているか。

答 質問しています。

中学校のグラウンドを芝生化しては

問 昔、中学校のグラウンドには防風林がありましたが見えなくなり、土が風で飛びこ

減俸は何%か。また、所管の課長の処分は。

答 1カ月間、町長が10%、副町長が5%です。課長へは、理事者から口頭注意をしたとのこと。

今回の公用車はどの課の所属か。また、鍵はどの課で管理しているのか。

答 公用車と鍵は総務課で管理していますが、職員が土曜日に無断で鍵を持ち出し、事故を起こしたものです。

議会でもう少し強く責任追及してもよかったです。いかがか。

答 議会へは管理規定の見直し

町に廃棄物が来ないとも限らない。その場合は意見書なりで反対の表明をしてほしい。

答 今後の動きを見ていくことになるかと思えます。

町への定住に今ある施設を有効活用して

問 町へ通勤している人が、住むところがないとの話を非常によく聞く。妻帯者向けの住宅の確保は難しく、新築は不可能。今ある施設をうまく活用することを考えてもらいたい。

答 町が活性化していくための意見を、反映させていくためにと思っています。

から芝生化してはと思うので

答 各学校のグラウンドを順次整備していますが、芝生化の計画はないと思います。意見があったことは伝えます。

クリニックさるまの運営と議会の立場は

問 クリニックさるまの運営を見ると赤字が出るのは当たり前。少しでも解消するため議会として今後どのように考えていくのか。はっきりものを言える体制をとってほしい。

答 要望として受け止めます。

土曜診療を行うことで、先生に精神的な負担がかかっているのでは。

答 先生は交替で土曜診療を行っています。また、土曜診療は診療点数が高いと聞いています。

免許証返納と町の福祉サービスは

問 高齢者の交通事故防止、安全の観点から免許を返納した場合、町として福祉ハイヤー等の利用はできないか知りたい。

おじゃまします 町議会です!

寿大学議会懇談会を開催～住み続けたいまち～



6月2日、寿大学に全議員が出向いての議会懇談会が佐呂間町民センターで開催されました。「住み続けたいまち」というテーマのもと議会から報告をし、また貴重な意見・要望・提言をいただきましたので、その質問と回答をお知らせいたします。

問 町の予算 一般会計・特別会計の用途は

答 特別会計については内容が理解されにくい事業ですが、上下水道、国民健康保険、介護保険、介護サービス、後期高齢者医療が執行されています。一般会計については、産業の育成、農業、漁業、林業への事業補助と執行や、公施設や公営住宅、道路の整備などが行われています。

問 一般会計の52億円中、自主財源の割合はどの程度ですか。

答 自主財源である町税、

問 予算額76億2000万円の中で、一般会計予算、特別会計予算はどのような事業に使われるお金でしょうか。

答 過疎債、辺地債といふのはどのような借金なのか説明してください。

問 町民の生活に支障をきたしている事業はありますか。

答 特別会計については内容が理解されにくい事業ですが、上下水道、国民健康保険、介護保険、介護サービス、後期高齢者医療が執行されています。一般会計については、産業の育成、農業、漁業、林業への事業補助と執行や、公施設や公営住宅、道路の整備などが行われています。

要望 高齢化社会を迎え、リタイア後の第二の人生をどう送っていくのか考えていく必要があります。まずは自分たちがやれることをソフト面でき、ハード面は行政にお願いし、社会のなかでできるだけ長い間関わりを持ちながら健康で生きていくことが目指すところだと思います。

寿大学の運営でも新しい試みを考え、学園祭をやったり午後からのクラブ活動を子供たちと一緒にやりたいです。

寿大学は60歳から入学できるように、入学者が増えるように、

寿大学議会懇談会アンケートの結果

時間不足を感じるも今後も開催を望む

寿大学出席者113名中、63名の方から寿大学議会懇談会の実施についてのアンケートの回答をいただきました。自由意見で多かった意見は、「時間が足りない」との声であり、運営方法の改善を求める意見がありました。議員が出向く懇談会の開催については「開催すべき」とする回答が54名(86%)と多く、こういった懇談の機会が求められている結果となりました。

プールの開館期間と職員体制の見直しを

問 教育委員会でプールの開館期間の見直しのアンケート調査を行いました。アンケート結果としてだけでなく、市民の健康維持のためにも検討してください。

答 回収率は30%でありましたが、冬期間も利用したいという意見が多く出されており、今回の結果を踏まえ検討していくと聞いています。

問 スターはプログラムが多くなっており、職員2人では十分な対応ができないと思う



漁村環境改善センターでの開催の様子

ので、理事者側へ検討していただけるようにお願いしてください。

答 貴重なご意見をいただきましたので、理事者側に伝えてまいりたいと思います。

富士士の河川管理恒久対策を考えると

問 現在の富士士の河川は大雨のたびに町と私設消防団が出勤している状況で、町はスパー土のうを積んで対応しているが、恒久対策を考えるとほしい。自治会へは毎年橋の改修を含めて要望を出している。

答 大変な状況を聞かせていただいたので、所管の常任委員会から町へ強く求めていきたいと思えます。

高校部活動でのバス等による移動支援を

問 部活動で町外に出る場合、先生方が大きなリスクを抱えて生徒の移動を行っている。ご家庭に依頼しても仕事などの関係で難しい。学校活

動でのバス等による移動支援をお願いできないか。

答 理事者側に伝えていきたくと思っています。

ホワイトドームで飲食はできないのか

問 ホワイトドームは現在スポーツの練習等で使用して

答 ドーム内での飲食はしていません。小学校の学区の行事の時は、休憩室で飲食してあります。※後日確認したところ、ドーム内の飲食は禁止としていることでした。

議会懇談会の開催を予算策定前の秋に

問 懇談会には予算に関連する要望事項が多いので、秋頃に開催を考えるとどうか。

答 今後、定期的なものを考えさせていただきます。

出前議会を自治会や団体向けに実行しては

問 以前の懇談会で各自治会や職場団体、各老人クラブの集まりなどに出前議会をしてみたいということでしたが、実行していますか。

答 議会活性化を図る中で、リアルタイム的なものにはなりません。活動等についてのホームページを作成することで検討しているところです。

いますが、イベント時にブルーシートを敷いて飲食ができるように思っています。

答 議会傍聴の代わりに議会中継の実施を

問 議会の傍聴に子育て等でいけない人も、ホームページでの放送で見られるような方法を取り入れてもいいのではないかと考えているのですが。

答 議会活性化を図る中で、リアルタイム的なものにはなりません。活動等についてのホームページを作成することで検討しているところです。

議会傍聴の代わりに議会中継の実施を

問 議会の傍聴に子育て等でいけない人も、ホームページでの放送で見られるような方法を取り入れてもいいのではないかと考えているのですが。

答 議会活性化を図る中で、リアルタイム的なものにはなりません。活動等についてのホームページを作成することで検討しているところです。



町長に報告書を提出する但木委員長

今回の懇談会でいただいた質問・意見・提言と答弁を取りまとめて記載しました。なお、これらの内容は平成29年6月21日に、但木議会活性化等特別委員長から町長へ提出しております。また、当日アンケート調査を実施し、ご出席いただいた19人の方にご協力いただき、16人の方から回答をいただきました。皆様のご協力に心よりお礼申し上げます。(アンケート詳細は15ページに掲載)

第1回臨時会

- ・審議した議案②
- ・町長行政報告
- ・議会懇談会アンケート結果

町長より行政報告がなされました。

第1回臨時会

- ・審議した議案①

第1回臨時会が4月28日開催され、一般会計補正予算など議案5件、承認4件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

第1回臨時会 4月28日開会

審議した議案

特別養護老人ホームの介護職員の負担を軽減
清掃等委託料 332万円

予算

■平成29年度介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)

113万円が追加され予算額が2億6277万円になりました。

【主な歳入】

・前年度繰越金 113万円

【主な歳出】

・代替人夫賃 ▲241万円

・清掃等委託料 332万円

その他

■工事請負契約の締結
高齢者福祉住宅の新築工事契約が締結されました。

◎高齢者福祉住宅新築工事(建築主体)

・契約の方法 指名競争入札

・契約金額 7020万円

・工期 平成29年11月13日

・契約の相手方 佐呂間町字宮前町74番地 高橋土木株式会社

代表取締役 高橋光貴

■財産の取得

若佐歯科診療所のX線CT診断装置を購入しました。

取得する財産及び数量 X線CT診断装置 一式

取得価格 2187万円

納入期限 平成29年6月30日

取得の方法 見積合わせ

売買の相手方 札幌市白石区菊水上町2条4丁目36-77

北海道歯科産業株式会社

代表取締役 山田哲哉

■財産の取得

可燃ごみ収集用車両を購入しました。

取得する財産及び数量

ごみ収集車 1台

取得価格 1620万円

納入期限 平成29年10月31日

取得の方法 指名競争入札

売買の相手方 佐呂間町字西富94番地6

有限会社宇野自動車整備工場

代表取締役 宇野利喜生

■財産の取得

中学校の生徒用及び教師用のパーソナルコンピュータを購入しました。

取得する財産及び数量

生徒用パソコン 44台

視聴覚室アスク 22台

校務用パソコン 15台

取得価格 2387万円

納入期限 平成29年8月31日

取得の方法 指名競争入札

売買の相手方 佐呂間町字宮前町7番地4

有限会社馬場アソキ

代表取締役 馬場雅幸

■専決処分の承認

平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の専決処分について承認しました。

85万円が追加され、予算の総額が8342万円になりました。

■専決処分の承認

平成28年度一般会計補正予算(第9号)の専決処分について承認しました。

1億8187万円が追加され、予算の総額が59億5220万円になりました。

【主な歳入】

・地方消費税交付金 ▲686万円

・特別交付税 1億5645万円

・畜産・酪農収益力強化整備等対策事業費補助金 ▲536万円

・ふるさと応援事業寄附金 2890万円

【主な歳出】

・財政調整基金積立金 2億1700円

・若佐歯科診療所運営委託料 257万円

・畜産・酪農収益力強化整備等対策事業費補助金 ▲536万円

・国民健康保険特別会計繰出金 ▲3465万円

■専決処分の承認

平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)の専決処分について承認しました。

2227万円が減額され、予算の総額が9億5819万円になりました。

【主な歳入】

・特別調整交付金 747万円

・その他一般会計繰入金 ▲3409万円

【主な歳出】

・一般被保険者療養給付費負担金 ▲2227万円

■専決処分の承認

町税条例の一部を改正する専決処分について承認しました。

これは、平成29年度の税制改正に関し、4月1日を施行日とする町税条例の改正が必要となったためです。

改正の内容は、法人・個人町民税の特定配当等所得に関する課税方式を町長が決定

することの明確化、軽自動車税におけるグリーン化特例の達成基準の変更及び2年延長などです。

町長行政報告 (要旨)

■ふるさと納税の実績

平成28年度ふるさと納税による寄付は、4268件

で4147万7471円でした。

その内インターネットによるクレジット決済を導入

した年度末までの7カ月間

における寄付分は4180件

で4008万7471円でした。

寄付の内訳では、5千円及

び1万円が合計3729件

で、返礼品については、味付

けシジリスカンのほか、鮭い

くら、冷凍ホタテ、ポイル毛

ガニ、季節限定では殻付き牡

蠣貝などの水産品に人気が集

中しました。

議会懇談会アンケート結果

(佐：佐呂間会場 富：富武士会場)

問1. 懇談会の説明はわかりやすいか

わかりやすかった	佐 7名・富 3名
わかりづらかった	佐 1名・富 0名
どちらともいえない	佐 2名・富 3名

問2. 懇談会を今後も開催すべきか

思う	佐 9名・富 5名
思わない	佐 0名・富 0名
どちらともいえない	佐 1名・富 1名

問3. 開催地はどこが適当か(複数回答)

佐呂間市街	佐 7名・富 0名
若佐	佐 1名・富 0名
浜佐呂間	佐 2名・富 0名
その他	佐 1名・富 4名

(各自治会単位、富武士、各地区順番で など)

問4. 懇談会の進め方はどうか

良かった	佐 5名・富 3名
まあまあ良かった	佐 4名・富 3名
良くなかった	佐 0名・富 0名

自由意見・提言等

- ・町民がもっと議会に関心を持つべきであり、そうなるよう議会の努力も必要かと思います。
- ・議員の説明が下手。もっと勉強すべき！！
- ・各地区で開催できるように検討してもらいたいです。

- ・議会が町に対してどんな提案をしてきたかを知りたいです。
- ・今後ともこのような会は必要であり、できれば多くの町民の意見を求めてください。

議会ニュース

議会ニュース

- ・委員会レポート②
- ・全道議員研修会に参加

- ・委員会レポート①

委員会レポート

常任委員会 現地調査を実施

総務福祉 常任委員会

浪速の宿泊施設用 浄化槽を調査視察

- 6月5日
- ◎所管事務調査
- ①高齢者福祉住宅設置及び管理に関する条例の制定
- ②国民健康保険税条例の一部改正
- ③特別養護老人ホーム煙突改修工事
- その他

第2回定例会に向け、事業の調査を実施いたしました。また、常任委員会終了後の現地調査では、①浪速の宿泊施設用浄化槽、②ホワイトドーム、③クリニックさろまのたな薬局を視察しました。



宿泊施設用浄化槽を確認する総務福祉常任委員

29年5月
29年7月

産業文教 常任委員会

町営スキー場 庄雪車を調査視察

- 6月7日
- ◎所管事務調査
- ①農業後継者育成対策事業費補助金
- ②下水道管渠測量調査設計委託（富武土地区）
- ③教職員住宅浴室ユニットバス設置工事
- その他

第2回定例会に向け、事業の調査を実施いたしました。また、常任委員会終了後の現地調査では、①下水道管理センター、②西富公営住宅、



購入した庄雪車を調査する産業文教常任委員

議会運営委員会

第2回定例会運営に ついて協議を進める

- 6月19日
- ◎第2回定例会運営について
- ①一般質問の提出状況及び概要説明

全員協議会

宿泊施設の営業再開 の報告を受ける

- 5月22日
- ◎協議事項
- ①ルートイングランディア サロマ湖の営業再開について
- ②高齢者福祉住宅について

◎6月21日
◎協議事項
・温水プールの開設期間に関するアンケート調査の実施結果について
宿泊施設の営業再開について

全道議員 研修会に参加

7月4日、札幌市で開催された北海道町村議会議員研修会に、本町から10名の議員が参加しました。

この研修会では、慶応義塾大学経済学部教授の金子勝氏が「トランプ政権と日本経済」との演題で経済政策と地域経済への影響について講演され、続いてNHK解説副委員長長の島田敏男氏が「日本政治の昨日・今日・明日」との演題で東京都議選や自民党政権などについて講演されました。

- ◎7月14日
- ◎所管事務調査
- ・議会だより111号の発行について
- ◎7月21日
- ◎所管事務調査
- ・議会だより111号の発行について

議会広報 特別委員会

議会だより 111号を編集

- ◎5月22日
- ◎議会懇談会の実施結果について
- ◎7月21日
- ◎議会懇談会の結果と
りまとめを協議

議会活性化等 特別委員会

議会懇談会の結果 とりまとめを協議

- ◎6月16日
- ◎議会懇談会の結果と
りまとめ
- ◎7月21日
- ◎寿大学議会懇談会の結果と
りまとめ



日本生花司 「松月堂古流 華松園」

町で輝いている人たちを紹介します



私たち会員10名は、天内和寿園先生のもとで月3回、生け花のお稽古に励んでいます。毎月、会員が当番制でお花選びを行い、季節や色の組み合わせなどバランスを考えながら試行錯誤の積み重ねです。

生けている時間は皆おしゃべりも一時中断、一気に集中した空間になります。そして生け終わると自分の作品やお互いの作品を眺めて、心が癒されます。

現代の花は種類も豊富で、新しい名前を覚えるのも楽しみの一つです。

活動内容は、年に一度全道講習会、また隔年で札幌東急百貨店での展示会に参加しています。町内では、毎年9月に行われる秋の総合文化祭の作品展示、また社会福祉協議会のロビーには毎週、会員が生けたお花を飾っていますので、ぜひ皆さんも立ち寄ってご覧になってください。

(文：北村千展)

議員のつとめ

恩師想感

恩師への想い出と感謝、よくある世間の冷酷な視線を浴びた時期、卑屈でねじ曲がった性格の者への救いというのか、かっこつけた人がいた。

今は亡き恩師（先生）として崇める、今の時代では考えもつかない先生で、一緒に喧嘩し、騒ぎ、泣いてくれたことも――。

その中で教えられたことがある。

「悪い奴、するい奴に媚びるな、同じ人間になるな」

例え苦しくとも、後々振り返る時、嫌な後悔するよりいい。

なるほど、社会は得てして嘘と裏切りの化かしあいがある。もがいても所詮一人だが、それでいいかと自分に言い聞かせ、可哀想な者を見てゆるす寛容な心が教えだったと思うのですが、まだこの年齢になっても寛容な心にはなれっこないのです。困った教え子ですかね、先生――。

(小松正義)